

## 青森県医師確保計画の見直しに向けた方向性について

## 厚生労働省 第8次医療計画等に関する検討会

「第8次医療計画等に関する意見のとりまとめ」（令和4年12月28日）

※医師確保計画に係る部分を抜粋

## （1）医師偏在指標に係る見直しの方向性

○医師偏在指標の精緻化を行う。

○都道府県が地域の実情に応じた施策を検討する際の参考となるよう、国が新たに勤務施設別（病院及び診療所）の医師偏在指標を参考資料として都道府県に提示する。

## （2）医師少数スポットに関する見直しの方向性

○医師少数スポットの設定地域の考え方を明確化するとともに、医師少数スポットの設定理由を医師確保計画に明記する。

※原則として市区町村単位で設定し、へき地や離島等においては、必要に応じて市区町村よりも小さい地区単位の設定も可能とする。

## （3）目標医師数に関する見直しの方向性

○特に医師少数区域以外の区域における目標医師数の設定における考え方を示す。

○国が新たに「計画終了時に計画開始時の医師偏在指標を維持するための医師数」を都道府県に提示する。

## （4）医学部の地域枠・地元出身者枠の設定・取組等に関する見直しの方向性

○都道府県は、安定した医師確保を行うため、地域枠に加えて地元出身者枠についても、恒久定員内への設置を進めるとともに、地域枠等の医師のキャリア形成を支援する。

## （5）産科・小児科医師偏在指標に関する見直しの方向性

○産科医師偏在指標及び小児科医師偏在指標の精緻化を行う。

※産科の医師偏在指標は、実際に分娩を取り扱う産科医師とすることが望ましいため、算出に用いる医師数は、現行の「産科・産婦人科医師数」を「分娩取扱医師数」と変更

#### (6) 医師確保計画の効果の測定・評価に関する見直しの方向性

○医師 確保計画における効果の測定・評価の方法について見直しを行う。

※第8次医師確保計画に記載する第7次医師確保計画の効果の測定・評価については、計画終了時の医師偏在指標の見込みの算出が困難であることから、病床機能報告等の都道府県が活用可能なデータを参考として評価することとする。ただし、病床機能報告は一般病床及び療養病床のデータのみであることに留意する。

※三師統計については、オンライン提出の仕組みを導入することで、結果を早期に公表できるよう検討を進める。また、既存の他統計との連携も含め、三師統計の更なる充実化を図る。

#### (7) その他の見直しの方向性

○都道府県は、寄附講座の設置、派遣元医療機関への逸失利益の補填に加えて、その他の既存の施策を組み合わせることで、医師少数区域等の医師確保を推進する。

○子育て支援は個々の医療機関の取組としてだけではなく、地域の医療関係者、都道府県、市区町村等が連携し、産科及び小児科に限らず全診療科を対象として、地域の実情に応じて取組む。